１．中学レベルの復習

●岩石は主に3つの種類に大別できる。その３つとは？

●火成岩には（A）と（B）のタイプがある。

AとBの出来かたの決定的な違いは？

Aの例となる岩石名を３つ挙げると？

Bの例となる岩石名を３つ挙げると？

●火成岩の色の違いは主に　（　　　　　　）の含有量の違いを反映している。

２．プレートテクトニクスとの関係

●地球上で火山の出来やすい所は成因から3つに分けられる。

（　　　　）：例　大西洋中央海嶺。海上に姿を現すこともある。例（国名）：

（　　　　）：例　ハワイ

　　　　　ハワイ諸島の島が南東から北西へ行くほど古くなる理由は？

（　　　　）：例　日本・チリなど。

　　　　　指定教科書に出てきた5つの火山の位置を覚えよう（プレートとの関係も）。

３．噴火の仕組み

●火山の地下の仕組みと名称（簡単な図で描けるように）

●噴火は噴煙の高さで4つの形式に大まかに分けられる。その4つとは？

●しかし、極論を言うと2つのタイプの噴火に分けられる。その2つとは？

　その噴火の違いが起こる原因は？

●火山から噴出されるものには何があるか？構成物で答えると？具体例を5つ以上。

　火山から噴出されるものを粒径で分類すると何があるか？具体例を2つ以上。

●溶岩流が固まって出来た溶岩を２つに大別すると？

●上記の2つの溶岩の成因の違いは何か？

●爆発的な噴火の発生メカニズムを図を使って説明できますか？

●上記の噴火と溶岩流を伴う噴火の違いを図や例えを使って説明できますか？

●火山岩のタイプ（3例）と溶岩のタイプ（2例）、噴火の形式には相関がある。

例えば、ハワイなどの溶岩流が固まると、上記の3例のうちの（　例　）の火山岩である事が多い。

一方、（　　　・　　　2例）と同じ成分で出来た溶岩・マグマは、爆発的噴火を起こしやすい。このタイプの岩石は高温（溶けている時、冷えかけた時など）に（　　　　）が高いために流動しにくく、（　　　　　　）と（　　　　　　）を多量に含んでいる。